

健康長寿の町へ前進を
救命教育授業継続



里見タ子
議員

40代50代女性の乳がん検診の期間限定無料化や健診等の受診時にナトリウム測定実施など、幅広い世代に対する健康長寿の取組に期待。

高齢化地域の維持を
町民の居住環境の向上



吉田林蔵
議員

高齢者の外出を支援する高齢者福祉タクシー事業や移動販売事業など、好評の声があるため、引き続き取組を推進してほしい。

子育て支援が不十分
5歳児健診開始は評価



浅見玲子
議員

5歳児健診開始と放課後児童クラブ増設は子育て支援の二環として評価するが、給食費・保育料無償化がなされず、残念。

変わる教育環境への対応
公共施設の今後を注視



久保鷹矢
議員

学校統廃合、部活動地域移行等教育環境の変化が大きい予算案。公共施設の修繕費用も多く、今後はより「選択と集中」を。



町が作成したポスター。県内市町村中、特に低い順位の項目をあえてピックアップし、自虐的に「のびしろたっぷりの町」とPR。埼玉新聞社主催新聞広告コンテスト優秀賞受賞。

16人の熱視線！

令和7年度 一般会計予算

のびしろ 注目点

吉澤康広議長

桜沢コミセン整備工事
中央公民館空調改修



本間政道
議員

多くの寄居町公共施設で老朽化による不具合があり、速やかな修理を行う予定になっている。町民の利便性を第一に考えた予算に期待！

デマンドタクシー運行
住宅改修資金補助金



太澤 博
議員

町外の総合病院へ町外便の本格運行でさらなる利便性向上を。住宅改修資金補助金の経済効果は予算の10倍、年度内限定にせず、経済効果向上を。

子育て世帯の居住促進
「健康意識」の普及



津久井大雄
議員

子育て世帯の住宅取得を支援する居住促進や交通ネットワークの連携。若い頃から「健康づくり」に対する意識の啓発を。

町コン2度開催に期待
ヒットの予感 健康弁当



笠原則夫
議員

前回カップル成立50%の結果。その勢いを年2回開催につなげたい。健康弁当とランチをスーパーと飲食店につなげればブレイクの予感。

よりいブランドの確立
地域内経済循環の促進



保泉周平
議員

農工商の新規事業者が定着できる下地づくりを支援し、地域内経済を活性化させ、町の魅力を積極的に発信する取り組みに期待する！

峯岸町政は現在、任期4年の折り返し地点。令和7年度当初予算での所信表明では「課題は多いが見方を変えれば全てのびしろ。寄居町はさらに良くなる」と決意を述べた。一方我々議会にも、このポスターで浮き彫りとなった多くの課題に対し、打開の一手を打つ役割と大きな責任がある。今号ではまず、令和7年度当初予算への全議員の「のびしろ注目点」とその熱視線を、賢いただきたい。

埼玉県内63市町村中「空き家ワースト1位」「健康長寿 男53位・女63位」「道舗装率51位」「出生率49位」「婚姻率48位」「1人あたり市町村民所得44位」など

子ども家庭センター拡充
5歳児健診 円滑な就学へ



鈴木詠子
議員

少子化対策の鍵は産前から貫いた切れ目のない「母子養育支援」にあり。ヤングケアラー等への確かな支援にも期待。

町税3年連続50億円突破
部活一部地域クラブ移行



吉田正美
議員

歳入の大宗を占める町税が3年連続50億円突破。財政運営の安定に寄与。教員の負担軽減や少子化を背景に中学校部活動を二部地域クラブに移行。

(仮称)城南小学校！
健康弁当事業の推進！



岡本安明
議員

(仮称)城南小学校、城南中学校長寿命化改修事業は、令和10年度の開校に向け、順調に事業が進んでいる。

未来のあるべき教育は
ちょうどいい田舎暮らしを



権田孝史
議員

少子化が進む寄居町も子ども達の教育環境や教育方法が今後の課題。他自治体に先駆けあるべき教育を地域住民と創る。

小学校建設詳細設計！
一般会計予算附帯決議



稲山良文
議員

一般会計予算に対し緊急動議で附帯決議を可決。学校再編に対し、義務教育学校の方向性を含め住民教育関係者、議会と合意形成を。

一方的な理論学校統合
おかしな準備委員構成



原口 孝
議員

校長2人制の主張、許せない一方的な理論の進め方。不自然な準備委員構成は一般13名教育関係者28名、計41名。正当な人事構成か。